

皆様のご支援・ご協力、誠にありがとうございました 平成29年度 東淀川区社会福祉大会

11月10日(金)、地域福祉を推進する目的で、平成29年度 東淀川区社会福祉大会を東淀川区民ホールで開催しました。当日は、約300名の参加者があり、大いに賑わいました。

第1部 式典 東淀川区長、大阪市社会福祉協議会会長、区内選出の大阪
市会議員・府議会議員、官公署長など多数のご来賓の出席の
もと、永年にわたり地域福祉活動に携わってこられた方々の功績をたたえて表彰状・
感謝状を、また善意銀行へ多額の預託をされた方々に感謝状をお送りしました。

社会福祉善行者

主催者あいさつ／吉田会長

★表彰状を受けられた方々(順不同・敬称略)

(井高野)加藤 隆士 (大 桐)川崎 広美 (豊 里)木原 正直 (豊 新)宇野 正武
(小 松)齋藤 俊文 (新 庄)川鍋 邦子 (下新庄)岩高 澄 (菅 原)鳥居 光子
(淡 路)岡田 孝行 (啓 発)啓発連合振興町会女性部

★感謝状を受けられた方々(順不同・敬称略)

(豊 新)廣嶋 愛子 (小 松)高橋 貞男 (下新庄)塩山 勝 (淡 路)嶋 兵造

善意銀行預託者

★感謝状を受けられた方々(順不同・敬称略)

岩室 ヨウ子 大阪市・八尾市・松原市環境施設組合東淀工場

第2部 講演会 / 「今を生きるコツ～より良く生きるために～」

講師に、宝塚市立病院緩和ケア病棟のチャプレン・カウンセラーである沼野尚美
さんをお招きし、ご講演をいただきました。



①講演会／講師の沼野尚美さん

チャプレンとは、キリスト教で、学校・病院・
軍隊などに属して宗教活動を行う聖職者のこ
とです。沼野さんは、長年、がん緩和病棟で、がんに苦しみながら病院で最
後を迎える多くの人々とその家族を見つめ、心のケアをされて来られました。
人は、苦しみのなかで自分の死をどのように受け入れていくのでしょうか。
自分の人生を振り返って満足し、より良く死ぬことは、より良く生きることなの
です。その為には、家族との関係が何よりも大切なことなど、より良く今を生
きるためのコツを、具体的な例を挙げて講演されました。
普段は、いそがしい生活のなかで、自分の死を想像することはあまりありま
せんが、生き方を考えさせられる貴重な時間でした。



②表彰式／吉田会長と北岡区長



③来賓あいさつ／北岡区長



④会場の様子



⑤最後のお楽しみ抽選会

平成29年度版「ほほえみパンフレット」を
作成しました!

区社協窓口で配布中!

ホームページの
新着情報からも
ご覧いただけます。

ほほえみパンフレット 検索

開催報告

平成29年度 家族介護支援事業 「アンガーマネジメントで “ココロ”軽やか介護生活」

10月14日(土)、東淀川区在宅サービスセンターで、東淀川区地域包括支援センター
「ほほえみ」と大桐地域在宅サービスステーション「おおざり」との共催による「アンガーマ
ネジメントで“ココロ”軽やか介護生活 ～怒りの感情と上手に付き
合いませんか?～」を開催しました。

講師には、アンガーマネジメントの講演や研修を幅広く行わ
れている井上泰世先生をお招きしました。天候不順のなか、
実際にご家族を介護されている方など、たくさんご参加いた
だき、ありがとうございました。



①講師の井上泰世先生

アンガーマネジメントとは、自分のアンガー(怒りやイライラ)と上手
に付き合いコントロールし、怒りのエネルギーをもっとポジティブな
方向へ使うことで、毎日を笑顔で過ごすためのプログラムです。

講座のポイント

●「怒り」の感情は、人間にとってごく自然な感情ですから、おさえこんだりせず
に、また、まったく怒らないようにすることではありません。自分の怒りの特
徴をとらえることで、その日の気分や機嫌で怒るのではなく、怒る必要がある
ことは上手に相手に伝え、表現できるようにすることが大切です。

●怒りの感情のピークは長くても6秒程度なので、やりすごすにはどうしたらよいでしょうか。
「アンガーログ」という、「怒り」を記録する専用のノートをつくり、書きためてから客観的に分
析していくと対応策が考えられることを学びました。

参加者の声

自分自身の“怒り”について
考えさせられた

怒らせているものの正体は
自分のこうある[べき]という感情であり、
相手のこうある[べき]も考えて、
その違いを受け止めることが大事だとい
うことを知りました

気持ちが楽になりました

講義の他に、グルー
プワークで話し合う場も
あり、介護生活の思いを
共有できる良い機会と
なりました。

東淀川区社協の相談窓口のご案内

高齢者の総合相談(大桐・大道南・豊里・豊里南・豊新地域)
東淀川区地域包括支援センター
月～金/9:00～19:00 土/9:00～17:30
ほほえみ(菅原4-4-37) ☎6370-7190

地域の見守り活動の相談
見守り相談室
月～金/9:00～19:00 土/9:00～17:30
ほほえみ(菅原4-4-37) ☎6160-0311

認知症相談(対象者の条件あり)
ほほえみオレンジチーム
月～土/9:00～17:30 ★土曜も相談受付中!
ほほえみ(菅原4-4-37) ☎7730-0002(要予約)

低所得者・障がい者・高齢者の方等
生活福祉資金の相談・受付
月～金/9:00～17:00
ほほえみ(菅原4-4-37) ☎6370-1630(要予約)

生活にお困りの方の相談・緊急生活支援
くらしのみり相談窓口
(旧:生活自立支援相談窓口)
月～金/9:00～17:30
区役所1階(豊新2-1-4) ☎6320-0231(予約優先)

判断能力に不安がある方の金銭管理等の相談
あんしんさぼーと事業
月～金/9:00～17:00
ほほえみ(菅原4-4-37) ☎6370-7221(まず電話)

子育て相談など
子育てサービス利用者支援(こさりん)
月・火・木/13:30～16:30(予約優先の窓口相談)
出張所3階(東淡路4-15-1) ☎6195-3732

ボランティアをしたい人・してほしい人
ボランティア活動の相談
月～金/9:00～19:00
ほほえみ(菅原4-4-37) ☎6370-1630

(2017年12月現在)

相談日は、祝・休日、年末年始等を除きます。
また予告なく変更する場合があります。

第71回『赤い羽根共同募金運動』 実施中! 10.1▶12.31

今年も皆様のあたたかいご支援を お願いします!

昭和22年に「国民たすけあい運動」
として始まった共同募金運動も、今年
で71回目。区内の福祉課題の解決に
取り組むさまざまな民間団体を支援す
る「じぶんの町を良くするしくみ。」として、長い
間、皆様の温かいお力に支えられてまいりまし
た。ご寄付をされた方、ボランティアで募金活動
をされている皆様方に、心からお礼を申しあげま
す。今年もどうぞよろしく願いいたします!

さまざまな募金活動を行っています!

共同募金東淀川地区募金会では、ご家庭を訪問し募金をお願いする「戸別募金」、
駅やスーパー前で女性部(会)が行う「街頭募金」、小・中・高校の児童・生徒による
「学校募金」、バッジや図書カードなどの「グッズ募金」を展開、その他
「職域募金」、「法人募金」、「インターネット募金」などがあります。

★詳しくは… 赤い羽根おおさか 寄付したい 検索



配分金を大切に 活用しています!

区社協では、共同募金
の配分金を地域福祉に活
用させていただいています。
高齢者福祉月間の区内最
高齢者訪問、金婚ご夫婦
への記念品贈呈、あんま
施療事業、各地域の敬老
大会への助成の他、ふれ
あいバスツアーの実施や
広報紙「社協だより」
の発行などです。



高齢者福祉月間～事業報告～

毎年9月は「高齢者福祉月間」です

区社協の取組みをご紹介します

◆区内最高齢者訪問

男性最高齢の坂本千市さん(101歳)、女性最高齢の山下
トシコさん(106歳)を当会吉田会長・北岡区長が
訪問、ご長寿をお祝いし記念品を贈呈しました。



①区内女性
最高齢の
山下トシコさん

◆金婚ご夫婦へのお祝い

今年度金婚式を迎えられたご夫婦264組に、
各地域社協のご協力により、お祝いの記念品を
贈呈しました。いつまでもお幸せに過ごされますようお祈り申し上げます。



②記念品
の置き時計

◆百歳お祝い訪問

今年度、めでたく百歳を迎えられます皆さまに、
当会会長・地域社協会長等からご長寿をお祝いする
とともに記念品を贈呈しています。皆さまのますます
のご健康をお祈りしております。



③新庄地域

◆あんま施療事業

9月22日、淡路・西淡路・新庄の各
地域において、大阪府立大阪北視覚支
援学校と当協議会との共催で、あんま
施療事業を行いました。毎年、ご好評
をいただいているこの事業、どの地域も満員で大盛況でした。
支援学校の先生・生徒の皆さまありがとうございました。

④西淡路地域

⑤淡路地域

ふれあいバスツアーレポート in 飛鳥

10月26日(木)、秋晴れのもと、恒例の「ふれあい
バスツアー」を開催しました。日ごろ介助や介護が必要
で外出のしにくい高齢者や障がいのある方に楽し
んでいただこうと、共同募金配分金を活用、区身体障
害者団体協議会と共催したものです。今年の行き先
は、奈良県飛鳥方面で、総勢77名が参加しました。

飛鳥資料館



最初に、明日香村にある「飛鳥資料館」を見学。高松塚古墳の出土品、日本最初
の水時計である水落遺跡等の展示の他、映像コーナーや古代の石造物がある広い
庭園もあります。参加者は、館員の詳しい説明に、質問が飛び出すほど熱心に耳を
傾け、いにしへの飛鳥時代に思いをはせながらゆったりと見学しました。

ランチバイキング



昼食は、「JAならけんファーマーズマーケット」の「まほろばキッチン」で
ランチバイキング。「まほろば」とは「素晴らしい場所」という意味の古語
です。産直の野菜やお米のおいしさに驚もすすみ、「もうお腹いっぱい!」
と大満足の昼食でした。その後は、最大級の面積を誇る農産物直売所で、
新鮮なお野菜やお土産のお買い物。



直売所でお買い物



そうめんづくり体験

最後は、桜井市の「三輪そうめん山本」で、手延べそうめんづくりを体験。ほとん
どの人がはじめてでした。ひっぱりながら細く細くしていくそうめんの独特の工程の最
後に、くっついていくそうめんを長い箸で離せば完成です。途中で切れてしまうそう
めんもあり、しり込みする人も職人さんの声援に押されて挑戦、楽しいひと時を過
しました。そうめんをお土産に帰路に、事故やケガもなく全員元気に帰阪できました。
参加者・ボランティアの皆様のご協力に、心から感謝申し上げます。m(_ _)m

スタッフは、来年も皆様楽しんでいただけるバスツアーを開催したいと、
今から意気込んでいます。ご期待ください!



ふれあいバスツアー